千手観音様は「いつでも・どこでも・誰にでも」

「継鹿尾（つがお）の観音様」と親しまれる寂光院の本尊様は「千手観音」様です。千手観音様は正式には「十一面千手千眼観世音菩薩」と申されます。十一面とは四方・八方・上下を含めて十方ですが、一番の中心を含めて十一の方角、つまりあらゆる方角に顔を向けて、「いつでも・どこでも・誰にでも」千手観音様は慈悲の眼（まなこ）で見守っていて下さるという意味です。

千手（千＝無限の意）は、観音様を必要とする人あらば、順番なんてありません。同時無差別平等にサッと手を差し伸べられる、という意味です。さて、千手観音様の手には眼があるといわれています。看護師さんの「看」という漢字は手と目の組み合わせです。患者さんの様子は目で確認します



千手観音（内仏堂）

が、熱があるかないかは額に手を当てて確認し、脈は腕に手を当てて確認します。とにかく「手と目をフルに活用してお救いくださる」という意味で「千手千眼観世音菩薩」と申されます。

千手観音様は「大丈夫・大丈夫！」

観音様は別名を「施無畏（せむい）者」と申されます。「畏れ（おそれ）無（な）きを施（ほどこ）す者」という意味です。いつも私たちに「大丈夫、大丈夫、安心していていいからね」というサインを送り続けている仏様ということです。私たちは未来に希望を持つこともできますが、むしろ不安と恐怖が先に立ちます。だからこそ「大丈夫だよ、あなたの不安と恐怖は私が預かるからね。私がいつも味方になっているから、安心して自分が今すべきことを精一杯やりなさい」と常に私たちにメッセージを送り続けてくださる仏様ということです。つまり千手観音様は万人の味方です。

千手観音様は「子年（ねどし）生まれの皆様の守り本尊様」

千手観音様は万人の味方です。無差別平等です。しかし、古来より、「ね・うし・とら・うさぎ・・・・」の十二支に、それぞれ縁深い仏さまが配置されてきました。そこで千手観音様は「子年生まれ」の方を担当することになられたのです。千手観音様は「いつでも・どこでも・誰にでも」身近な仏様ですが、なかでも子年の皆様に御縁の深い仏様ということです。

令和二年は子年（ねどし）
寂光院の本尊様は
【子年（ねどし）生まれ御守護の「千手観音（せんじゅかんのん）」さま】です

犬山・寂光院山主
松平（まつだいら）　實胤（じついん）

来年!!令和二年にご出産予定のお母様へ

令和二年にご誕生の赤ちゃんは千手観音様が守り本尊です。千手観音様は「安産・子育て」の不安や心配事を取り除いてくださる仏様です。いつでもお気軽にご参詣ください。

来年!!令和二年に年男・年女になられるお方へ

特に還暦をお迎えのお方へ

尾張最古刹千手観音霊場・寂光院へ是非ご結縁ください。

合掌